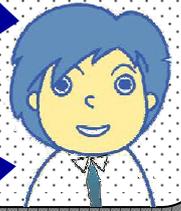




ねっとわーく



H24. 04. 20

No.7

■「怒る」と「叱る」の原理

「怒る」… 相手が自分に悪い影響を与えたり、自分が指示したとおりに動いてくれなかったりした場合に、自分が腹をたてたことを相手にぶつける行動



問題行動



頭ごなし

何やってんだ！コラッ！

なぜ怒られたのか
わからない
→「恐怖感」や「反発」



わたし、よくあります。
自分で書いてて、反省。
何度も同じことだったり、自分の体調がイマイチだったり、時間に余裕がなかったりといったときです。
あー、自戒せねば。

「叱る」…相手が自分を含めて誰かに悪い影響を与えたり、自分が指示したとおりに動いてくれなかったりした場合に、相手をより良くしようとする注意やアドバイスを伝える行動



問題行動



理由・推察

なぜ怒られたのかわかる
→「反省」「よりよい自己へ変容しよう」「先生やみんなに受け入れてほしい」
⇒安心感へ



ここ大事！
・理由や推察から行動を受け止める。
しかしながら、「善は善、悪は悪」ふれないで話す。

どうした？何かあった？
気持ちはわかるけど、
〇〇は悪いことだからね。

ただし、言葉で聞いても、答えられない場合が多いので…
・気質？性格？
・学習への不満？
・友だち関係？
・家庭での出来事？
など
推察していく。

ただし、一度で、治ることはまずない。
漢方薬のように、くり返し、根気よくじわじわと浸透させていく感じかな。

今日の格言「児童理解は【聴】の一文字」

耳だけじゃなく、目や心を動かす。

つまり五感を総動員して。

